

温泉地名 天童温泉
 利用施設名 公衆浴場 かまた荘
 採水位置 6号及び8号源泉合流野湯槽
 泉質 ナトリウム・カルシウム-硫酸塩温泉
 源泉の温度 63.7℃
 供用場所での温度 42.0℃

温泉利用の注意(浴用)

温泉法第14条の規定による掲示

効果的で安全な温泉入浴のため、次の事項をよく読んで入浴してください。

含有成分

温度 63.7℃ (分析時の温度)			
蒸発残留物 1661 mg/kg		水素イオン濃度 (pH) 8.1	
試料 1 kg 中の成分の分量			
(1)陽イオン	ミリグラム (mg)	(2)陰イオン	ミリグラム (mg)
水素イオン (H ⁺)		フッ素イオン (F ⁻)	1.4
リチウムイオン (Li ⁺)	0.2	塩素イオン (Cl ⁻)	133.0
ナトリウムイオン (Na ⁺)	276.1	臭素イオン (Br ⁻)	0.3
カリウムイオン (K ⁺)	2.5	ヨウ素イオン (I ⁻)	0.2
マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	0.4	水酸イオン (OH ⁻)	
カルシウムイオン (Ca ²⁺)	207.1	硫化水素イオン (HS ⁻)	
アルミニウムイオン (Al ³⁺)		硫酸水素イオン (HSO ₄ ⁻)	
マンガンイオン (Mn ²⁺)		硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	911.8
鉄 (II) イオン (Fe ²⁺)		リン酸二水素イオン (H ₂ PO ₄ ⁻)	
		リン酸水素イオン (HPO ₄ ²⁻)	
		炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	19.4
		炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	0.2
(3)遊離成分			
①非遊離成分	ミリグラム (mg)	②溶存ガス成分	ミリグラム (mg)
メタケイ酸 (H ₂ SiO ₄)	76.2	遊離二酸化炭素 (CO ₂)	0.2
メタホウ酸 (HBO ₃)	3.8	遊離硫化水素 (H ₂ S)	0.1未満
メタ亜ヒ酸 (HASO ₃)			
(4)その他の微量成分			
ヒ素	0.03 ^{mg/kg}	鉄(II)イオン	0.01 ^{mg/kg} 未満
総水銀	0.0005 ^{mg/kg} 未満	マンガンイオン	0.01 ^{mg/kg}
銅	0.01 ^{mg/kg} 未満	亜鉛イオン	0.01 ^{mg/kg} 未満
鉛	0.01 ^{mg/kg} 未満	アルミニウムイオン	0.04 ^{mg/kg}
カドミウム	0.01 ^{mg/kg} 未満		
溶存物質総量 (ガス性のものを除く)	1637 mg/kg		

分析年月日 平成18年7月25日
 登録分析機関 日本環境科学株式会社
 登録番号 温泉分析山形第2号

使用源泉名 天童温泉協同組合第6号源泉、天童温泉協同組合第8号源泉

適応症及び禁忌症

この温泉は、次のような適応症がありますが、禁忌症もありますので、その場合は入浴を控えてください。

(1) 適応症 (温泉が効く疾患及び症状)

動脈硬化症、きりきず、やけど、慢性皮膚病、
 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、
 運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、
 慢性消化器病、痔疾、冷え症、
 病後回復期、疲労回復、健康増進

(2) 禁忌症 (入浴を控えた方がよい疾患及び症状)

急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、
 悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、
 出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢
 進行中の疾患、妊娠中(とくに初期と末期)

入浴の心得

- 温泉療養の場合は、1日当りの入浴回数を初め数日間
は1回程度とし、その後2ないし3回まで増やしてくだ
さい。
- 温泉療養は、2ないし3週間にわたるのが適当です。
- 数日後、湯あたり(湯さわり)が現れた場合は、入浴
を中止したり回数を減らし回復を待ってください。
- 入浴する場合は、次のことに十分注意をしてください。
 ○入浴時間は、初め3分から10分程度とし、慣れるにし
たがい延長する。
 ○入浴中は、運動浴を除き一般に安静にする。
 ○入浴後は、身体に付着した温泉成分は洗い流さない。
 (ただし、湯ただれを起こしやすい人は、真水で洗う
か拭き取る。また、強塩泉及び酸性泉は、真水で洗い
流す。)
 ○入浴後は、湯ざめに注意し、一定時間安静にする。
 ○高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の場合は、原
則として高温浴(温度42℃以上)は避ける。
 ○熱い湯に急に入るとめまい等を起こすおそれがある。
 ○食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避ける。

平成18年9月12日

山 形 県

(作成 社団法人山形県温泉協会)